

**入札監理小委員会における審議の結果報告**  
**独立行政法人国際交流基金 日本語国際センター海外日本語教師研修接遇業務**

独立行政法人国際交流基金日本語国際センター海外日本語教師研修接遇業務については、平成24年4月から1年間を契約期間として民間競争入札による事業を実施しているところ。契約期間終了後の事業については、公共サービス改革基本方針（別表）において、平成25年4月から平成27年3月までの2年間を契約期間として、民間競争入札を実施することとされている。（2期目）

これに基づき、当該民間競争入札の実施要項（案）を入札監理小委員会において審議したので、その結果（論点と対応）を以下のとおり報告する。

**【論点】**

- 前回の民間競争入札実施業務（平成24年度業務）に対する内閣府評価を踏まえ、必要な検討がなされているか。

（内閣府評価の概要）

- ① 「参入実績のない民間事業者においても、実施状況を踏まえた工夫（企画書の提案）が可能となるよう、実施要項等に本実施状況の内容を十分に情報開示するなど、更なる競争性の確保に努める必要がある。」
- ② 「アンケートによる研修参加者の満足度が定量的な指標を大きく上回っていることを踏まえ、確保されるべきサービスの質の一層適切な設定について検討する必要がある。」

**【対応】**

- 「従来の実施状況に関する情報の開示」において、従来経費の内訳の構成要素や従来の受託事業者の業務体制を記載するなど、情報開示を強化して、入札参加者が創意工夫をできるようにした。（実施要項案 25～29 ページ）
- アンケートによる質の達成指標について、前回から10ポイント引き上げ、「80%以上の回答者から「満足」または「やや満足」の評価を得ること」とした。（実施要項案 5 ページ、30～32 ページ）

以 上